

政策評価調書(21年度実績)

政策名	恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進		政策の目的等	身近なごみ処理の問題から地球環境問題まで、極めて広範囲にわたる環境問題に取り組むことが求められている現在、本県の恵み豊かな天然自然に磨きをかけ、さらに輝かせる行動を県内各地域で起こし、全国に誇れる美しく快適な大分県を創造する県民運動である「ごみゼロおおいた作戦」を推進する。	主管部局名	生活環境部
	政策コード	I-1			担当課室名	生活環境企画課

【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後 の 動 向	<p>豊かで快適な環境を未来に継承していくには、社会経済システムやライフスタイルと環境との調和を図り、人間生活の存立基盤である環境・生態系に対する影響を最小限に抑えていくことが急務となっている。</p> <p>このようなことから、低炭素社会の実現のために国内クレジットの活用やエコエネルギーの導入促進を図るほか、廃棄物・リサイクル対策の推進により循環型社会の構築を目指すとともに、生物多様性の保全を図っていくことが大事である。また、恵まれた本県の環境を未来に継承していくには、社会の活力を維持するという視点も不可欠であり、本県の強みである環境産業の更なる育成も課題である。</p> <p>このような中、これらの取組は、県民一人ひとりの意識と行動に支えられるものであり、県民への環境教育や普及啓発を一層充実することにより、持続的な発展が可能な社会づくりが進展していく。</p>
-------------------	---

【政策を構成する施策の評価結果】

施策名		評価結果		政策との 関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	達成	拡充	○
2	循環を基調とする地域社会の構築	達成	現状維持	◎
3	地球環境問題への取り組みの推進	達成	拡充	◎
4	環境産業の育成	達成	現状維持	○
5	すべての主体が参加する地域社会の形成	達成	拡充	◎

【構成する施策に対する意見・提言】

<p>○豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造(平成22年4月22日ごみゼロおおいた作戦県民会議自然保護・観光部会における委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観づくりは大変難しい課題であり、市町村との連携が必要である。 ・なぜ外来種がいけないのかについて、一般の方に理解してもらう必要がある。 <p>○循環を基調とする地域社会の構築(同廃棄物・大気・水環境部会における委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の問題は、緊急対策だけでなく、予算や時間をかけた中長期的、総合的な対策を考える必要がある。 ・漂着ごみのほとんどは廃プラで、家庭からのものが多いので、家庭ごみの発生抑制対策が必要である。 <p>○地球環境問題への取組の推進(同地球環境・エネルギー部会における委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対しても分かりやすく、何ができるかを伝えていって欲しい。 	<p>○環境産業の育成(同環境技術部会における委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコの推進については、今後は、モデル都市、環境都市宣言をした自治体を先進地域として支援していくべきではないか。 ・廃棄物のリサイクルでは、ただ処理するだけでなく、使う側の開発、需要まで考えることが大切である。 <p>○すべての主体が参加する地域社会の形成(同環境教育・ボランティア部会における委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(環境教育用DVD作成の事業については)この部会の委員の意見を集約して事業の推進を図るべき。 ・今後は環境教育の取組みに資する「リーダーの育成」に関する事業をもうけて欲しい。
---	--